

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1290200193		
法人名	株式会社 ヘルシーサービス		
事業所名	グループホーム ガーデンコート花鳥(1階)		
所在地	千葉県千葉市花見川区花鳥町481-8		
自己評価作成日	平成28年1月13日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.jp/12/index.php
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社アミュレット
所在地	東京都中央区銀座5-6-12みゆきビルbizcube7階
訪問調査日	平成29年2月9日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

スローガンにもなっている、みんなが楽しく安心して過ごせる環境を目指しています。また、月に1回以上のイベントやお客様と一緒に作業を行う、買い物に出かけるといった外出支援にも力を入れています。残存能力の活用と自立支援はもちろんのこと、お客様にも役割をもっていただき、笑顔で楽しく過ごしていただけるように支援できることを目指しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

「お客様が安心して過ごせる環境をスタッフ一同目指していきます」をホームのスローガンに掲げ、職員間で共有し日々の支援に反映しています。今年度もホーム近隣の公園を有効的に活用し、散策に出かけたり、公園で開催されるイベントやコンサートに利用者と一緒に参加をし、利用者の楽しみにつなげると共に、地域の方々との交流にもつながっています。また、ファミリーレストランでの外食会も取り入れ楽しみにつなげたり、ホーム内でも回想法の一つである「ミッケルアート」を利用者と一緒に楽しむなど、利用者一人ひとりが安心して過ごすことができるように、職員が一丸となり日々取り組んでいます。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない			

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域の健やかな暮らしに貢献すること、お客様が楽しく安心して過ごせる環境をスタッフ一同目指しています。	会社の社是、経営理念、心得の掲示のほか、ホームのスローガンとして「お客様が安心して過ごせる環境をスタッフ一同目指していきます」を掲げ、職員間で共有し、日々の支援に反映できるように取り組んでいます。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	日々のレクリエーションで、近隣の花島公園の散歩やおやつ等の買い物に行かれたり、地域の催し物にも積極的に参加しています。ボランティアの方との関わりも増えてきています。	近隣の公園で開催されるお祭りやコミュニティーセンターで開催されるコンサートなど地域の行事にも利用者と一緒に参加しています。近隣のお店の店員とも顔なじみの関係になるなど、地域とは良好な関係を構築しています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議で主にお伝えしています。小学校との交流や、地域包括や町内会との連携をとっています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議内でお客様の現状の報告、地域の問題の話し等を構成員の皆様と意見交換しています。ご提案いただいた事項については検討をし、改善が必要なものは改善をし、より良い施設運営に活かすようにしております。地域の催し物への参加が増えていきます。	会議には家族代表者、地域包括支援センター、町会長、小学校校長、民生委員、協力医療機関等の参加を受け市の規定に準じて3ヶ月に一度開催しています。ホーム側からの運営状況の報告のほか、参加者との意見交換を通じてサービス向上につなげています。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営上、行政の判断が必要な件については市高齢施設課、介護保険課に問い合わせをしています。人員の相談が多いです。ケアでの質問などは担当のあんしんケアセンターへ問い合わせをするようにしております。	運営上疑問が生じた際には、市の担当課に連絡を入れ指示を仰ぐようにしています。質問には丁寧に回答があり、市の担当課とも協力関係を築くことができている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	高齢者虐待、身体拘束に関する研修を修了した者が、施設内研修によりスタッフへ研修を行っております。また日々のケアの中で、は基本的に行なってはいけない行為だという事を、職員全体に周知させています。	虐待防止や権利擁護、身体拘束廃止に向けホーム内でも研修を実施しており全職員が正しい理解が得られるよう取り組んでおり、現状ホームでは身体拘束につながる事例は発生していません。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	6に同じ		

グループホームガーデンコート花島(1階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護に関する研修を実施し、理解を深めています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	必ず読みあわせでの確認、書面でその内容等をお伝えし、ご質問を受ける機会を設け、ご理解とご納得をいただいております。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族様アンケートを実施し、要望を真摯に受け止め、反映させるよう努力をしています。また、運営推進会議の議事録はあんしんケアセンターへ提出しています。	家族からの意見や要望については面会時や電話連絡時に直接確認し、利用者への支援に反映できるように取り組んでいます。また、年に一度顧客満足度調査を実施しており、ホームに対して意見や要望等を気軽に表せる機会を定期的に設けています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月のヘルパー会議の実施、および日々の申し送りにて直接意見を聴取。また、現場社員が相談役となり、パートスタッフの意見を聴取するようにしております。3ヶ月に1回の個人面談も実施しています。	管理者は3ヶ月に一度職員と個人面談を実施しており、職員からの意見や要望を定期的に確認しています。利用者の支援や業務に関しては毎月の拠点会議を通じて意見や提案を収集し日々の支援に反映しています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	定期的な面談を行うことにより職員個人個人の意向を把握するようにし、目標設定を共に行うようにしています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	入社後に研修を行い認知症と介護についての理念、現場での動きを学ぶ機会を持つようにしています。また、職員会議時にも研修を実施しています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	近隣のグループホームの管理者様と情報交換をする機会を設けています。		

グループホームガーデンコート花島(1階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご利用開始前に、ご本人様が安心して暮らすことができるようご本人様、ご家族様へ面談をし、直接ご意見を頂戴しております。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	15に同じ		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	介護相談の窓口として様々な相談を受けるとともに、当施設でのサービスを希望される段階ではないと思われる場合は、あんしんケアセンターなどにご相談をし、的確な引き継ぎを行っています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	スタッフとお客様とが一緒に掃除をしたり、食事の手伝いをしたり普段と変わらない生活を営んでおります。介護されるということではなく、お互いに感謝の気持ちを持ち続けることのできる関係を築くよう努力しております。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	入居契約の際に、ご入居されても、ご本人様にとってご家族様の協力は必要不可欠なものであることを説明し、ご家族様が気軽に施設にお越しになれるよう、日々の様子をお伝えしたり、行事へのご参加をお願いしたりしております。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族様と連携をとり、ご本人様のこれまでの関係を維持できるように努めています。	馴染みの人や場所との関係が途切れないように利用者の友人が迎えに来られ、友人同士のカラオケに出かけたり、家族の協力を得て馴染みの場所に出かけられるように取り組むなど、これまでの関係性が途切れないように取り組んでいます。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ユニット内のお客様の人間関係を把握できるよう、日々の会話の内容や行動などを報告するように指導しております。		

グループホームガーデンコート花島(1階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	継続的な関わりを必要とするお客様やご家族様には、利用終了後も関わりを持たせていただいております。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご本人の意向を優先し、不可能な場合はご家族にご意見を頂戴し、ご本人様にとって、一番良いと思われるケアプランを作成し、ご承諾をいただき、実際のケアに活用しております。	利用者の思いや意向については、日常会話の中から収集し日々の支援に反映しています。またケアプラン作成および更新時にはアセスメントを行い、利用者の現状や課題、思い等を定期的に確認しています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ケアマネジャーがモニタリングシートを作成し、スタッフと申し送りをすることで情報共有をしています。また、アセスメントシートなどをスタッフが閲覧しやすい場所に配置し、情報の積極的な収集を促しております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	現場スタッフは日々の生活の中で、小さな変化に気付けるように関係を深めています。また、日々の申し送りで左記項目の把握をするようにしております。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご家族、ご利用者様、提携医療、ケアマネジャー、管理者、スタッフなどの意見を取り入れ、介護計画に反映して実際のケア展開を行っております。	ケアプラン作成や更新にあたっては担当者会議において職員の意見を収集し、総合的な意見を踏まえケアプランを作成しています。ケアプラン作成後は家族に同意を得て、毎月のモニタリングにおいて目標の達成状況を確認しています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々、個人日誌、業務日誌の記録をし、内容をチェックしております。申し送り時に、管理職、ケアマネジャーが立会い、スタッフとの情報共有を行っており、介護計画の見直しが必要な情報は見落とさないようにしております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にもまれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	日頃からご要望を連絡していただけるようお願いしており、出来る限りの要望に対応するようにしております。		

グループホームガーデンコート花島(1階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	近隣に小学校や花島公園やコンビニがあります。小学校の行事に参加させていただいたり、花島公園内で行われる催しごとには積極的に参加させていただいています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	提携医療機関と連携を図っております。施設の提携医療機関もご紹介いたしますが、ご本人がご希望される病院にかかっていらっしゃる方もいます。	提携先医療機関による往診を通じて必要な医療が受けられる体制を築いています。担当医も毎週ホームに来所され利用者の状況を定期的に報告することができるとともに24時間のオンコール体制により緊急時にも迅速な対応が図れる体制を築いています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	計画作成担当者経由で提携医療機関の看護職と連絡を取り、日常の健康管理や医療活用の支援をしています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	お客様が入院の際には、入院先の医師・病棟看護師に直接情報提供、収集を行っております。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご契約時に左記の説明を行っており、ご本人様の希望、ご家族様の希望を出来得る限りかなえたいため、提携医療等とも連携を密にとっております。	重度化や終末期の方針に関しては、契約時において方針を説明し、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有しています。重度化が見られる場合は、家族や主治医と再度話し合いを行い、今後の方針を検討していくこととしています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	対応のフローチャートを作成し、まずは管理者、提携医療、ご家族の判断を確認する旨徹底しております。また、マニュアルを作成し、ファイリングして事務所内に保管しております。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練、消防訓練は年度研修計画にて最低2回予定しております。所轄消防署より水消火器を借り、実際に放射訓練をしたりしています。外部機関、消防署による定期的な点検も受けております。地域住民の方々との連携は、徐々に取れてきています。	年2回消防訓練を計画し、平成28年9月に地震を想定した訓練を実施しています。災害に備え災害時のマニュアルを整備しているほか、備蓄品についても倉庫に保管するなどの対策を講じています。	年2回定期的に避難訓練を実施していますが、今後に向けては、火災や水害等、様々なケースを想定した訓練の実施を期待します。

グループホームガーデンコート花島(1階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	「お客様の尊厳を守る」声かけ、対応を心掛けるよう、日々スタッフと意志の共有をしております。また、各ご利用者様の歴史を知ることにより、尊敬の念を持ってもらえるよう、個人ファイルの熟読を勧めています。	言葉による行動制限などについても職員に周知し、拠点会議や朝の申し送り時にも言動や行動等を振り返り不適切な対応が発生しないように取り組んでいます。トイレ誘導時の声掛けや居室への入室の際にも羞恥心やプライバシーに配慮し対応しています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	スタッフ主導でなく、ご本人様に選択、決定していただけるような声掛けを行っています。また、自己決定が難しい方に関しては、ご家族様のご協力をたまわるなど、施設の意向を優先させることのないよう気を付けております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご利用者様が入所される前に暮らしていた普通の暮らしをホーム内でも実現できるよう、「見守り」を重視し、ストレスの無い生活を支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	訪問理容を定期的に予約し、ご利用頂いております。ご自分で整容をされるかたはご自身の意志にお任せし、行為自体に障害が伴う方は、介助にて行なっております。あくまでも、ご本人の意向を優先することを徹底しております。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	性別に関係なく、お食事作り、後片付けなどの生活行為全般に参加をいただいております。	食事の盛り付けや食材の仕分け、お皿洗いなどには利用者も関わられるように取り組んでいます。季節行事の際には行事食をみんなと一緒に楽しんだり、ファミリーレストランへの外出なども取り入れ食事の楽しみにつなげています。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	定期のお茶の時間以外にも、お客様の要望に応じて提供を行っております。水分制限のある方もいるため、ご利用者様全員の状態に合わせて提供し、一日の摂水量をチェックしております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアを実施しております。拒否がある方でも、出来るだけ実施できるように支援しています。		

グループホームガーデンコート花島(1階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	日々の申し送りで、排泄の状態報告をするようにしており、より自立の方向に向かえるよう対応しています。また、その人個人の排泄パターンを把握することにより、的確な時間に、こちらからお声掛けをするようにしております。	利用者一人ひとりの排泄状況に関しては、個人日誌に水分摂取量や排泄に関する記録を残し、利用者一人ひとりの排泄パターンや習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援に努めています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	積極的に体を動かしていただけるように散歩への参加を促したり、階段の昇降運動をしています。定また、期的に乳酸菌飲料の提供を行っています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入浴表を設定していますが、その日ごとにお客様にお伺いをし、ご希望に沿った形での入浴を楽しんで頂けるように心掛けています。	利用者の体調やタイミングを考慮し、週2回入浴できるように支援しています。入浴中は職員が介助につき、転倒等が生じないように支援するほか、各ユニットの浴室にはリフトが設置され安全に入浴できる体制が整っています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の休息や入眠パターンを把握し、快適な休息、睡眠をとっていただけるよう努めております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬管理については管理者、ケアマネジャーにて管理を行っております。各ご利用者様の処方薬につきましては薬局からの説明書面を事務所内にファイリングをして閲覧できる場所に配置しております。誤薬防止の対応は、記入帳票等を活用し誤薬等が起こらないよう日々注意喚起しております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日常生活の作業を職員と共に行うように働きかけております。また、月に1回はイベントを行うようにし、気分転換が出来るように取り組んでいます。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	日々散歩へのご参加の声がけをし、お客様のご要望を聞き、外出する機会を増やしております。ご家族様のご希望に添い、外食をしに近隣のレストランへ出かけたりしております。	天候や気候の良い日には、ホーム周辺の散歩にお連れしたり、近隣公園の散策、公園で開催されるお祭りやコミュニティーセンターのコンサートに出向くなど、地域の資源を有効的に活用し、戸外に積極的に出かけています。	

グループホームガーデンコート花島(1階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	貴重品等は事務所金庫にて預からせて頂いております。お小遣いとして当施設にてお預かりをし、ご本人様が使いたいときには自由に使用いただけるケアを行なっています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人のご希望通りに、事務所内電話をご使用いただけます。手紙もご要望があればお出しいただけます。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	食堂にその季節に沿った飾り付けをしたり、行事の写真を貼ったりし、季節を感じさせてくれる空間をお客様と共に演出しております。	共用の空間は、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、行事や季節に合わせて装飾を工夫し、生活感や季節感を採り入れ居心地良く過ごせるように工夫しています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファを設置することにより、お好きな方同士でくつろいでいただけるようにしています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご入居時に、馴染みの物をご入居後も使っていただくようご家族様にお願いしております。その後も必要となるものに関しては、ご本人様、ご家族様に相談をさせていただきます。	居室は、利用者やご家族と相談しながら、使い慣れた家具や好みのものの持ち込みを可能とし、ご利用者が居心地よく過ごせるように配慮しています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	施設内には手すりを設置しており、完全バリアフリーになっております。ご利用者様の安全を確保しながら、残存機能を有効利用し、自立した生活が送れるようになっております。		

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1290200193		
法人名	株式会社 ヘルシーサービス		
事業所名	グループホーム ガーデンコート花島(2階)		
所在地	千葉県千葉市花見川区花島町481-8		
自己評価作成日	平成28年1月13日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.jp/12/index.php
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社アミュレット
所在地	東京都中央区銀座5-6-12みゆきビルbizcube7階
訪問調査日	平成29年2月9日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

スローガンにもなっている、みんなが楽しく安心して過ごせる環境を目指しています。また、月に1回以上のイベントやお客様と一緒に作業を行う、買い物に出かけるといった外出支援にも力を入れています。残存能力の活用と自立支援はもちろんのこと、お客様にも役割をもっていただき、笑顔で楽しく過ごしていただけるように支援できることを目指しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

「お客様が安心して過ごせる環境をスタッフ一同目指していきます」をホームのスローガンに掲げ、職員間で共有し日々の支援に反映しています。今年度もホーム近隣の公園を有効的に活用し、散歩に出かけたり、公園で開催されるイベントやコンサートに利用者と一緒に参加をし、利用者の楽しみにつなげると共に、地域の方々との交流にもつながっています。また、ファミリーレストランでの外食会も取り入れ楽しみにつなげたり、ホーム内でも回想法の一つである「ミッケルアート」を利用者と一緒に楽しむなど、利用者一人ひとりが安心して過ごすことができるように、職員が一丸となり日々取り組んでいます。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない			

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域の健やかな暮らしに貢献すること、お客様が楽しく安心して過ごせる環境をスタッフ一同目指しています。	会社の社是、経営理念、心得の掲示のほか、ホームのスローガンとして「お客様が安心して過ごせる環境をスタッフ一同目指していきます」を掲げ、職員間で共有し、日々の支援に反映できるように取り組んでいます。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	日々のレクリエーションで、近隣の花島公園の散歩やおやつ等の買い物に行かれたり、地域の催し物にも積極的に参加しています。ボランティアの方との関わりも増えてきています。	近隣の公園で開催されるお祭りやコミュニティーセンターで開催されるコンサートなど地域の行事にも利用者と一緒に参加しています。近隣のお店の店員とも顔なじみの関係になるなど、地域とは良好な関係を構築しています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議で主にお伝えしています。小学校との交流や、地域包括や町内会との連携をとっています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議内でお客様の現状の報告、地域の問題の話し等を構成員の皆様と意見交換しています。ご提案いただいた事項については検討をし、改善が必要なものは改善をし、より良い施設運営に活かすようにしております。地域の催し物への参加が増えていきます。	会議には家族代表者、地域包括支援センター、町会長、小学校校長、民生委員、協力医療機関等の参加を受け市の規定に準じて3ヶ月に一度開催しています。ホーム側からの運営状況の報告のほか、参加者との意見交換を通じてサービス向上につなげています。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営上、行政の判断が必要な件については市高齢施設課、介護保険課に問い合わせをしています。人員の相談が多いです。ケアでの質問などは担当のあんしんケアセンターへ問い合わせをするようにしております。	運営上疑問が生じた際には、市の担当課に連絡を入れ指示を仰ぐようにしています。質問には丁寧に回答があり、市の担当課とも協力関係を築くことができている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	高齢者虐待、身体拘束に関する研修を修了した者が、施設内研修によりスタッフへ研修を行っております。また日々のケアの中で、は基本的に行なってはいけない行為だという事を、職員全体に周知させています。	虐待防止や権利擁護、身体拘束廃止に向けホーム内でも研修を実施しており全職員が正しい理解が得られるよう取り組んでおり、現状ホームでは身体拘束につながる事例は発生していません。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	6に同じ		

グループホームガーデンコート花島(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護に関する研修を実施し、理解を深めています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	必ず読みあわせでの確認、書面でその内容等をお伝えし、ご質問を受ける機会を設け、ご理解とご納得をいただいております。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族様アンケートを実施し、要望を真摯に受け止め、反映させるよう努力をしています。また、運営推進会議の議事録はあんしんケアセンターへ提出しています。	家族からの意見や要望については面会時や電話連絡時に直接確認し、利用者への支援に反映できるように取り組んでいます。また、年に一度顧客満足度調査を実施しており、ホームに対して意見や要望等を気軽に表せる機会を定期的に設けています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月のヘルパー会議の実施、および日々の申し送りにて直接意見を聴取。また、現場社員が相談役となり、パートスタッフの意見を聴取するようにしております。3ヶ月に1回の個人面談も実施しています。	管理者は3ヶ月に一度職員と個人面談を実施しており、職員からの意見や要望を定期的に確認しています。利用者の支援や業務に関しては毎月の拠点会議を通じて意見や提案を収集し日々の支援に反映しています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	定期的な面談を行うことにより職員個人個人の意向を把握するようにし、目標設定を共に行うようにしています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	入社後に研修を行い認知症と介護についての理念、現場での動きを学ぶ機会を持つようにしています。また、職員会議時にも研修を実施しています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	近隣のグループホームの管理者様と情報交換をする機会を設けています。		

グループホームガーデンコート花島(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご利用開始前に、ご本人様が安心して暮らすことができるようご本人様、ご家族様へ面談をし、直接ご意見を頂戴しております。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	15に同じ		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	介護相談の窓口として様々な相談を受けるとともに、当施設でのサービスを希望される段階ではないと思われる場合は、あんしんケアセンターなどにご相談をし、的確な引き継ぎを行っています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	スタッフとお客様とが一緒に掃除をしたり、食事の手伝いをしたり普段と変わらない生活を営んでおります。介護されるということではなく、お互いに感謝の気持ちを持ち続けることのできる関係を築くよう努力しております。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	入居契約の際に、ご入居されても、ご本人様にとってご家族様の協力は必要不可欠なものであることを説明し、ご家族様が気軽に施設にお越しになれるよう、日々の様子をお伝えしたり、行事へのご参加をお願いしたりしております。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族様と連携をとり、ご本人様のこれまでの関係を維持できるように努めています。	馴染みの人や場所との関係が途切れないように利用者の友人が迎えに来られ、友人同士のカラオケに出かけたり、家族の協力を得て馴染みの場所に出かけられるように取り組むなど、これまでの関係性が途切れないように取り組んでいます。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ユニット内のお客様の人間関係を把握できるよう、日々の会話の内容や行動などを報告するように指導しております。		

グループホームガーデンコート花島(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	継続的な関わりを必要とするお客様やご家族様には、利用終了後も関わりを持たせていただいております。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご本人の意向を優先し、不可能な場合はご家族にご意見を頂戴し、ご本人様にとって、一番良いと思われるケアプランを作成し、ご承諾をいただき、実際のケアに活用しております。	利用者の思いや意向については、日常会話の中から収集し日々の支援に反映しています。またケアプラン作成および更新時にはアセスメントを行い、利用者の現状や課題、思い等を定期的に確認しています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ケアマネジャーがモニタリングシートを作成し、スタッフと申し送りすることで情報共有をしています。また、アセスメントシートなどをスタッフが閲覧しやすい場所に配置し、情報の積極的な収集を促しております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	現場スタッフは日々の生活の中で、小さな変化に気付けるように関係を深めています。また、日々の申し送りで左記項目の把握をするようにしております。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご家族、ご利用者様、提携医療、ケアマネジャー、管理者、スタッフなどの意見を取り入れ、介護計画に反映して実際のケア展開を行っております。	ケアプラン作成や更新にあたっては担当者会議において職員の意見を収集し、総合的な意見を踏まえケアプランを作成しています。ケアプラン作成後は家族に同意を得て、毎月のモニタリングにおいて目標の達成状況を確認しています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々、個人日誌、業務日誌の記録をし、内容をチェックしております。申し送り時に、管理職、ケアマネジャーが立会い、スタッフとの情報共有を行っており、介護計画の見直しが必要な情報は見落とさないようにしております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	日頃からご要望を連絡していただけるようお願いしており、出来る限りの要望に対応するようにしております。		

グループホームガーデンコート花島(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	近隣に小学校や花島公園やコンビニがあります。小学校の行事に参加させていただいたり、花島公園内で行われる催しごとには積極的に参加させていただいています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	提携医療機関と連携を図っております。施設の提携医療機関もご紹介いたしますが、ご本人がご希望される病院にかかっていらっしゃる方もいます。	提携先医療機関による往診を通じて必要な医療が受けられる体制を築いています。担当医も毎週ホームに来所され利用者の状況を定期的に報告することができるのととも24時間のオンコール体制により緊急時にも迅速な対応が図れる体制を築いています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	計画作成担当者経由で提携医療機関の看護職と連絡を取り、日常の健康管理や医療活用の支援をしています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	お客様が入院の際には、入院先の医師・病棟看護師に直接情報提供、収集を行っております。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご契約時に左記の説明を行っており、ご本人様の希望、ご家族様の希望を出来得る限りかなえたいため、提携医療等とも連携を密にとっております。	重度化や終末期の方針に関しては、契約時において方針を説明し、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有しています。重度化が見られる場合は、家族や主治医と再度話し合いを行い、今後の方針を検討していくこととしています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	対応のフローチャートを作成し、まずは管理者、提携医療、ご家族の判断を確認する旨徹底しております。また、マニュアルを作成し、ファイリングして事務所内に保管しております。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練、消防訓練は年度研修計画にて最低2回予定しております。所轄消防署より水消火器を借り、実際に放射訓練をしたりしています。外部機関、消防署による定期的な点検も受けております。地域住民の方々との連携は、徐々に取れてきています。	年2回消防訓練を計画し、平成28年9月に地震を想定した訓練を実施しています。災害に備え災害時のマニュアルを整備しているほか、備蓄品についても倉庫に保管するなどの対策を講じています。	年2回定期的に避難訓練を実施していますが、今後に向けては、火災や水害等、様々なケースを想定した訓練の実施を期待します。

グループホームガーデンコート花島(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	「お客様の尊厳を守る」声かけ、対応を心掛けるよう、日々スタッフと意志の共有をしております。また、各ご利用者様の歴史を知ることにより、尊敬の念を持ってもらえるよう、個人ファイルの熟読を勧めています。	言葉による行動制限などについても職員に周知し、拠点会議や朝の申し送り時にも言動や行動等を振り返り不適切な対応が発生しないように取り組んでいます。トイレ誘導時の声掛けや居室への入室の際にも羞恥心やプライバシーに配慮し対応しています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	スタッフ主導でなく、ご本人様に選択、決定していただけるような声掛けを行っています。また、自己決定が難しい方に関しては、ご家族様のご協力をたまわるなど、施設の意向を優先させることのないよう気を付けております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご利用者様が入所される前に暮らしていた普通の暮らしをホーム内でも実現できるよう、「見守り」を重視し、ストレスの無い生活を支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	訪問理容を定期的に予約し、ご利用頂いております。ご自分で整容をされるかたはご自身の意志にお任せし、行為自体に障害が伴う方は、介助にて行なっております。あくまでも、ご本人の意向を優先することを徹底しております。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	性別に関係なく、お食事作り、後片付けなどの生活行為全般に参加をいただいております。	食事の盛り付けや食材の仕分け、お皿洗いなどには利用者も関わられるように取り組んでいます。季節行事の際には行事食をみんなと一緒に楽しんだり、ファミリーレストランへの外食なども取り入れ食事の楽しみにつなげています。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	定期のお茶の時間以外にも、お客様の要望に応じて提供を行っております。水分制限のある方もいるため、ご利用者様全員の状態に合わせて提供し、一日の摂水量をチェックしております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアを実施しております。拒否がある方でも、出来るだけ実施できるように支援しています。		

グループホームガーデンコート花島(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	日々の申し送りで、排泄の状態報告をするようにしており、より自立の方向に向かえるよう対応しています。また、その人個人の排泄パターンを把握することにより、的確な時間に、こちらからお声掛けをするようにしております。	利用者一人ひとりの排泄状況に関しては、個人日誌に水分摂取量や排泄に関する記録を残し、利用者一人ひとりの排泄パターンや習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援に努めています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	積極的に体を動かしていただけるように散歩への参加を促したり、階段の昇降運動をしています。定また、期的に乳酸菌飲料の提供を行っています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入浴表を設定していますが、その日ごとにお客様にお伺いをし、ご希望に沿った形での入浴を楽しんで頂けるように心掛けています。	利用者の体調やタイミングを考慮し、週2回入浴できるように支援しています。入浴中は職員が介助につき、転倒等が生じないように支援するほか、各ユニットの浴室にはリフトが設置され安全に入浴できる体制が整っています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の休息や入眠パターンを把握し、快適な休息、睡眠をとっていただけるよう努めております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬管理については管理者、ケアマネジャーにて管理を行っております。各ご利用者様の処方薬につきましては薬局からの説明書面を事務所内にファイリングをして閲覧できる場所に配置しております。誤薬防止の対応は、記入帳票等を活用し誤薬等が起こらないよう日々注意喚起しております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日常生活の作業を職員と共にさせていただけるように働きかけております。また、月に1回はイベントを行うようにし、気分転換が出来るように取り組んでいます。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	日々散歩へのご参加の声がけをし、お客様のご要望を聞き、外出する機会を増やしております。ご家族様のご希望に添い、外食をしに近隣のレストランへ出かけたりにしております。	天候や気候の良い日には、ホーム周辺の散歩にお連れしたり、近隣公園の散策、公園で開催されるお祭りやコミュニティーセンターのコンサートに出向くなど、地域の資源を有効的に活用し、戸外に積極的に出かけています。	

グループホームガーデンコート花島(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	貴重品等は事務所金庫にて預からせて頂いております。お小遣いとして当施設にてお預かりをし、ご本人様が使いたいときには自由に使用いただけるケアを行なっています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人のご希望通りに、事務所内電話をご使用いただけます。手紙もご要望があればお出しいただけます。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	食堂にその季節に沿った飾り付けをしたり、行事の写真を貼ったりし、季節を感じさせてくれる空間をお客様と共に演出しております。	共用の空間は、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、行事や季節に合わせて装飾を工夫し、生活感や季節感を採り入れ居心地良く過ごせるように工夫しています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファを設置することにより、お好きな方同士でくつろいでいただけるようにしています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご入居時に、馴染みの物をご入居後も使っていただくようご家族様にお願いしております。その後も必要となるものに関しては、ご本人様、ご家族様に相談をさせていただきます。	居室は、利用者やご家族と相談しながら、使い慣れた家具や好みのものの持ち込みを可能とし、ご利用者が居心地よく過ごせるように配慮しています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	施設内には手すりを設置しており、完全バリアフリーになっております。ご利用者様の安全を確保しながら、残存機能を有効利用し、自立した生活が送れるようになっております。		